
Memory Days

棗蛙彌

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Memory Days

【コード】

N9042A

【作者名】

棗蛙彌

【あらすじ】

友達関係は難しくなっていく。が、敬太と、とある約束をした。その約束は、ほっぺにkiss

凧杏 〓 なぎあん

相沢美野里 〓 あいざわみのり

伊原せな 〓 いはらせな

長谷敬太 〓 はせけいた

和泉香里 〓 いずみかおり

美野里が教室へ向かうのを見ていた私に、せなは挑発的な目を向け、美野里の後を

追って教室へ走っていった。

実は、私・美野里・せな。のグループに本当はもう一人いた。その子は、香里といい静かな性格の女の子だった。

私は呼び出されなにされたかを、まるでチクルように香里に言った……

『ああああありえない。ホントウザイ……。美野里が告んな

かったから敬太は

うちの所に来たんでしょ？なんで怒られなきゃいけないわけ？？」

『美野里は、敬太が杏ちゃんの事好きなの小6の時から知ってたんだよねえ』

と香里が言った。確かにある日の帰り道に

『敬太はいつからうちの？？』と、聞いた日があった。

『ん〜一筋になったのは6年の時だなあ』って言ってた。

6年の頃、香里・せな・美野里は同じクラスで私だけ違うクラスだったのだ・・・

香里は6年の頃の敬太について話はじめた。

『敬太、結構杏ちゃんの事好きだったよ。「あ」とか言うとすぐ顔赤くなっ

ちゃってね。周りの男子に「杏の事好きだべ」とかよく言われてて、なにも抵抗

しないで、黙って照れてたんだよ〜』

.....結構驚いた。。6年の時は敬太の事は

眼中に入っていなかったの。。。

『遅れてゴメン』

『うん。いいよ 行こ!!--』

いつものように遅れてくる敬太に私はトキメキを覚えてしまった……

『敬太……なんかカッパルらしいことしようよ!--』

『えっ。どんなこと??』

『ん〜こっこの!!--』

と私は、空に を書いた。漢字で読めば“くち”と読むのを期待して……

だが可愛らしく単純な敬太は

『しかく???』

『ああ……じゃあ……漢字で読んでみて』

『………ああ!!--!! えっっ!!--』

というやり取りで、やっと伝わった。ほっぺに…….
たのだが、遅い時間

なので、明日という事で約束をした。

もちろん知ってるのは2人だけ 自分にしてはめずらしく、
早く明日になってほしい

と思っていた。

触れた最初の唇は誰の???

あなたのほっぺに

風杏

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9042a/>

Memory Days

2011年1月29日14時03分発行